

## [4] 昭和27年度ローマ字教育実験学級のテスト

### 1 第1期テスト実施要項

ローマ字教育実験学級，第1期テストは15時間指導の後，ただちに実施するもので，〔I〕見ながら書く，〔II〕おぼえて書く，〔III〕聞きとり書き，〔IV〕連想書きの4種類とする。その要項は次のとおりである。

種類	問題	用紙	時間	その他
〔I〕 見ながら書く	文部省 で作成	各学校 で印刷	4分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は机にひとりひとり別に並ばせる。</li> <li>・教室のローマ字書きのものを取り除く。</li> <li>・各問題とも採点の基準となるべき正答を添えて報告する。</li> <li>・問題ごとに既習・未習を明らかにした語い表を添付して実施直後発送する。</li> </ul>
〔II〕 おぼえて書く	同上	同上	2分	
〔III〕 聞きとり書き	同上	同上	1度目—ややゆっくり読む 2度目—5分 3度目—2分	
〔IV〕 連想書き	同上	同上	4分	

#### テストを終わってから

- 1 名まえを書きおとしている児童がないかを調べる。
- 2 番号順にそろえてとじる。
- 3 教師の模範答案を添える。
- 4 実施年月日を明記して，文部省調査局国語課長あて送る。

#### 〔I〕見ながら書く

#### 〔II〕おぼえて書く

#### (a) 準備

- (1) 別紙のような紙を用意して，大きいほう(A)の左側を見ながら，マヌスクリプト体のローマ字で右側に書かせ，あとで小

小さなほうの紙（B）に答を記憶によって書かせる。

(2) ローマ字文の段落の切り方、符号の用い方、分ち書きは(A)の例文のとおりにし、つづり方、字の大きさは、日常の学習指導のとおりにして、マヌスクリプト体で書く。なお、日本式では普通名詞の語頭を大文字で書く。

(3) 書かせる紙に、けいは引かない。

(4) おぼえて書く問題は、別紙の質問（B紙）を口で言って、その答だけをいっせいにローマ字で書かせる。

(b) 児童に対する注意

(1) 紙を2枚配ります。

(2) 「始め。」と言ったら大きいほうの紙をあけて、左側に書いてある文を見ながら、それと同じ文を右側に書いてください。

(3) 線を引いてはいけません。

(4) あとで、そこに書いてあったことを聞きますから、よく読みながら書いてください。

(5) 名まえのところはあとで書いてください。

(6) その質問は三つです、一つ一つゆっくり聞きますから、その答を、(1),(2),(3)の番号のところに書いてください。

(c) テストの実施方法

(1) 大きなほうの紙を出してやってください。

(2) (4分たったら,) 「やめ。」

(3) その紙を机の中に入れてください。

(4) 小さなほうの紙を出してください。

(5) 今、大きなほうの紙に書いたことを聞きますから、その答を小さなほうの紙に書いてください。

(6) (1)………, (2)………, (3)……… (1問ずつ、ゆっくり質問し、答を書き終ってから、次の質問をする。ただし、総時間は2分。)

(7) 「やめ。」

(8) 2枚とも名まえを書かせて集めてとじる。

別紙 (A) わら半紙1枚 (規格B4判) を横長に使う。

[I]見ながら書く

Kono mae no kin'yôbi ni, minna de, hutakumi ni wakarete, yakyû no siai o suru koto ni site imasita ga, tenki-yohô dewa ame da to iu node sinpai desita. Sikasi, ohiru mae kara sukkari hareta node, kimete ita tôri ni yakyû no siai o simasita.

各学校で採用しているつづり方のローマ字文に書き直して実施すること。普通名詞の語頭を大文字で書くこと、助詞の「を」に「wo」を用いること、また、b, m, pの前にくるはねる音に「m」を用いること、長音符号を「 $\bar{\quad}$ 」とすることなど、それぞれの方式に従うべきことはいうまでもない。

小学校	年 組	番	おとこ おんな
-----	-----	---	------------

別紙 (B) わら半紙 $\frac{1}{2}$ 枚 (規格B5判) を縦長に使う。

〔II〕

おぼえて書く

小学校	年 組	番	おとこ おんな
-----	-----	---	------------

- (1) ((このまえの金曜日に何をすることにしていましたか。すること  
にしていたことを書いてください。))  
(答をローマ字で書かせる。)
- (2) ((その日の天気は天気予報ではどうでしたか。その天気を書いて  
ください。))  
(答をローマ字で書かせる。)
- (3) ((いつからすっかり晴れてきましたか。晴れてきたときを書いて  
ください。))  
(答をローマ字で書かせる。)

< 児童に与える紙には、この質問を書くには及ばない。  
(1),(2),(3)の番号だけを書いておけばよい。 >

〔III〕 聞きとり書き

(a) 準備

- (1) 次のようなけいを引かないわら半紙を用意して書かせる。  
(2) 問題の番号は適当な間隔で印刷しておく。  
(3) ( ) 内は問題で、これを教師が番号順に口で言って、  
児童にローマ字でその位置に書かせる。

〔III〕 聞きとり書き

小学校	年 組	番	おとこ おんな
-----	-----	---	------------

- 1 ( ちょうちょうが <sup>と</sup> 飛ぶ。 )
- 2 ( 銀色 <sup>ぎんいろ</sup> のバスに <sup>の</sup> 乗る。 )
- 3 ( 大西君 <sup>おおにしくん</sup> の犬 <sup>いぬ</sup> が しっぽを ふっています。 )
- 4 ( 「はい、 | そうです。」 と <sup>こた</sup> 答えた。 )

(b) 児童に対する注意

- (1) 紙を配りますから、名まえのところを漢字・かなで書いてください。
- (2) これから読みあげる文章を、先生の読むとおりにローマ字で書いてください。
- (3) 1, 2, 3, 4と番号を言いますから、1は1のところ、3は3のところというふうに書いてください。
- (4) いちばん初めに、普通に読みますからよく聞いて意味をとってください。このときに書いてはいけません。
- (5) 次にひとくぎりずつ、ゆっくり読みますから、その間に書いてください。文章を書くときに使ういろいろのしるしは言いませんが、自分でよく考えて必要だと思うしるしをつけてください。
- (6) 3度目にもう1度全体をゆっくり読みますから、自分の書いたのをよく見て、まちがいを直したり、抜けたところがあったら書き入れたりしてください。しるし(符号)の落ちたところのないようにしてください。
- (7) 「やめ」と言ったらやめてください。

(c) テストの実施方法

- (1) 問題は全部1度にやる。
- (2) 「1, 2, 3, 4」は「イチ, ニ, サン, シ」と読む。
- (3) | は2度目に読むときのくぎりを示す。
- (4) 初めに読む時間……………ややゆっくり読む。  
書かせるときに読む時間……………5分  
3度目に読む時間……………2分

〔IV〕連想書き

(a) 準備

- (1) 次のようなけいを印刷した用紙(規格B4判を横長に使う)を用意して書かせる。

(IV) 連想書き					
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">小学校</td> <td style="padding: 5px;">年 組</td> <td style="padding: 5px;">番</td> <td style="padding: 5px;">おとこ おんな</td> </tr> </table>		小学校	年 組	番	おとこ おんな
小学校	年 組	番	おとこ おんな		
(1)	(21)				
(2)	(22)				
(3)	(23)				
(4)	(24)				
(5)	(25)				
(6)	(26)				
⋮	⋮				
(17)	(37)				
(18)	(38)				
(19)	(39)				
(20)	(40)				

(b) 児童に対する注意

- (1) 紙を配りますから、名まえのところを漢字・かなで書いてください。
- (2) 問題の「ことば」を聞いて、そのことばに関係のあることで、思いついたことばをいくつでもよいから、思いついただけローマ字で書いてください。

長い文章でなく、一つのことばや、ごく短い文章を書くのです。

(3) たとえば、「犬」という問題なら、「なく」「ほえる」「犬小屋」「ポチ」「走って行く。」「番をする。」「弟がかわいがる。」

(ローマ字で板書して示す。) などと書けるでしょう。こういうふうに書けばよいのです。

(4) 1, 2……と番号が書いてありますから、その順に書いてください。

(5) 題を言います。

(6) 「やめ。」といったらすぐやめてください。

(7) 題は「学校」です。(ローマ字で板書して示す。) さあ、書いてください。「学校」ということばからおもいつくことを次々とローマ字で書いていくのです。

(c) テストの実施方法

書かせる時間      4分

## 2 第2期テスト実施要項

ローマ字教育実験学級、第2期テストは30時間指導の後、ただちに実施するもので、〔Ⅰ〕分ち書き、〔Ⅱ〕つづり方、〔Ⅲ〕変化形〔Ⅳ〕黙読の4種類とする。その要領は次のとおりである。

種 類	問 題	用 紙	時 間	採 点
〔Ⅰ〕分ち書き	文部省で作成	各学校で印刷	5 分	文部省で行う
〔Ⅱ〕つづり方	同 上	同 上	5 分	同 上
〔Ⅲ〕変化形	同 上	同 上	5 分	同 上
〔Ⅳ〕黙 読	同 上	同 上	問題10分 質問 3分	同 上

以上の4種類をこの順序で続けて実施する。ただし、全部の種類の問題を1度に配ることなく、1種類が終って答案を集めてから、次の種類の問題を配ること。

テストを終わってから

- 1 名まえを書きおとしている児童がないかを調べる。
- 2 番号順にそろえてとじる。(縦長のものは上部を、横長のものは左側を。)
- 3 教師の模範答案を添える。
- 4 実施年月日を明記して、文部省調査局国語課長あて送る。

### 〔Ⅰ〕分ち書き

#### (a) 準 備

- (1) 別紙1に示すとおり用の紙を作成する。
- (2) 用紙はわら半紙半分の大きさ(規格B5判)のものを縦長に用いる。
- (3) 実施に際しては用紙を裏向きに配り、問題のやり方を説明する。
- (4) 説明のときに、文部省指定の実例は黒板へ書いておき、テ



ストの実施にあたってはそれを見逃さずにおく

(b) 児童に対する注意

- (1) 紙を裏向きに配りますから、「始め。」というまでは問題を見てはいけません。
- (2) 問題は、ローマ字文の分ち書きのまちがいを直すのです。やり方を説明します。
- (3) たとえば、(以下の説明は口で言いながら、実際に板書して説明する。なお、つづり方などはそれぞれの式に従うこと。)「わたしはきのう学校へ行きました。」と書くときに、  
Watasiwa kinô gakkô e ikima sita.  
と書いてあれば、分ち書きがまちがっています。  
これを正しい分ち書きに直すのです。  
直すときに、ことばとことばを離さなければならない所には watasi/wa というように縦に長い線をはっきりと字と字との間へ引いてください。赤鉛筆ではっきりと書くのです。  
ことばとことばとくっつけるときには ikima ( sita のように、(のしるしをはっきりつけてください。どの問題でも必ずまちがっているところがあります。
- (4) 「やめ」と言ったらすぐにやめなさい。
- (5) 時間は5分間です。
- (6) 名まえのところはあとで書きます。

(c) 実 施

- (1) 「始め。」
- (2) 「始め。」でいっせいに実施し、5分たったら、「やめ。」でいっせいにやめさせる。
- (3) 名まえの欄に記入させる。
- (4) 集める。

〔II〕 つづり方

(a) 準備

- (1) 別紙2に示すとおり用の紙を作成する。
- (2) ~ (5) [I]に同じ。

(b) 児童に対する注意

(1) 紙を裏向きに配りますから、「始め。」というまでは問題を見てはいけません。

(2) 問題はローマ字文のつづり方のまちがいを直すのです。やり方を説明します。

(3) たとえば、(以下の説明は、口で言いながら、実際に板書して説明する。なお、つづり方などは、それぞれの式に従うこと。)  
「いぬにはしっぽがある。」というのを、

Inu niwa situpo ga aru. と書いてあれば、「しっぽ」のつづりがまちがっています。これを正しく直して、問題の下の  
 の中へ  と書くのです。

まちがっていることはだけを正しく直して書けばよろしい。

(4) 「やめ」といったら、すぐにやめなさい。

(5) 時間は5分間です。

(6) 名まえのところはあとで書きます。

(c) 実施

[I]に同じ。

〔Ⅲ〕変化形

(a) 準備

- (1) 別紙3に示すとおり用の紙を作成する。
- (2) ~ (4) [I]に同じ。

(b) 児童に対する注意

(1) 紙を裏向きに配りますから、「始め。」というまでは問題を見てはいけません。

(2) 問題のやり方を説明します。

(3) yomu ということばは、

yomu, yomanai, yonda, yomanakatta, yomô, yonda,  
yomanaide, yondari, yomeba, yomimasu, yomimasita,  
yomimasen, yomimasyô

などと形が変り、(この例は板書しない。)文の意味によくあ  
てはまった形を使わなければなりません。

(4) たとえば、

Watasi wa rômazi ga yomeru.

というときは、“yomeru”という形を使いますが、

(5) Sore o yonde goran nasai. というときは “yonde” と  
いう形を使わなければなりません。

(6) これからやる問題は、一つのことばだけを抜たい文があっ  
て、その終りに、その抜けたところへ入れることばが、その  
ことばのもとの形でかっこの中に書いてあります。文の意味  
をよく考えて、意味がよくとおるような形に変えて書き入れ  
るのです。

(7) たとえば、

Sore o \_\_\_\_\_ goran nasai. (yomu) というのなら、( )  
の中の yomu を yonde と変えて、\_\_\_\_\_ のところに書  
き入れるのです。

(以上を実際に板書する。なお、つづり方などはそれぞれの  
式に従うこと。)

(8) 「やめ。」と言ったら、すぐにやめなさい。

(9) 時間は5分間です。\*

(10) 名まえのところはあとで書きます。

(c) 実 施

[I] に同じ。

[IV] 黙 読

(a) 準 備

- (1) 別紙4に示すとおり用の紙（もんだい、しつもん各別に。）を作成する。（つづり方などはそれぞれの式による。）
- (2) もんだいの用紙は別紙4の大きさ（規格B4判）のものを横長に用い、別紙のとおり左右に分けて印刷する。2枚にわたってもさしつかえない。  
しつもの用紙は、わら半紙半分の大きさ（規格B5判）のものを縦長に用いる。
- (3) 実施に際しては、まず、しつもん用紙を裏向きにして配り、次にもんだい用紙を、やはり裏向きにして配る。次にやり方を説明する。

(b) 児童に対する注意

- (1) 紙は大きいのと小さいのと2種類あります。初めに小さいほうの紙を裏向きに配ります。次に大きいほうの紙を裏向きに配ります。
- (2) 大きいほうの紙は問題で、小さいほうの紙は質問です。「始め。」と言ったら、大きいほうの紙をあけて文章を読んでください。（小さいほうの紙はもう1度「始め。」というまで見えてはいけません。）
- (3) あとで質問に答えてもらいますから、落ち着いて読んでください。時間はじゅうぶんあります。（時間は10分であるが、児童には告げない。）
- (4) 「やめ。」と言ったら読めたところに赤鉛筆で「印を（黒板に書いて示す。）をはっきりとつけてください。
- (5) 全部読み終った人はすぐに文の最後の所に「印をつけてください。
- (6) 時間があつたら、何度読んでもかまいませんが、「印は1度目に読んだときにつけるだけで、2度目に読んだ所にはつけなくてもよい。
- (7) 名まえのところはあとで書きます。

(8) 次に質問のほうのやり方を説明します。

(9) 質問は二つあります。初めの質問はいくつかのことばが並べてあります。質問をよく読んで、並んでいることばの中のいく

つかに, tukue (isu) bôsi (kokuban) kawara のよう

に, ことばのまわりを線ではっきりとかこむのです。(この実例を板書しておく。) どのようなことばを囲むのかは: 質問をよく読んで, 自分で考えてください。

次の質問は, やり方を説明しませんから, 質問をよく読んで  
どういうことを書くのか, 自分で考えて書いてください。

(10) 名まえのところはあとで書きます。

### (c) 実 施

(1) 「始め。」, 大きいほうの紙をあげなさい。

(2) (10分たったら,) やめ。

(3) 名まえのところを書きなさい。

(4) 大きいほうの紙を裏が外へ出るように二つに折って机の端へ置きなさい。

(5) 「始め。」, 小さいほうの紙をあげなさい。

(6) (3分たったら,) やめ。

(7) 名まえのところを書きなさい。

(8) 集める。

別紙 1

(I) 分ち書き

小学校	年 組	番	おとこ おんな
-----	-----	---	------------

次の文の分ち書きのまちがっているところを直しなさい。

- 1 Tukueno ue ni hon ga aru.
- 2 Yuki ga kireida.
- 3 Hana tyan ga sô iimasita.
- 4 Boku mo yatte mi yô.
- 5 Sore wa watakusi nodesu.
- 6 Koku ban e zi o kaku.
- 7 Sore wa boku niwa deki nakatta.
- 8 TarôSan ga gakkô e iku.
- 9 Ame ga huru yôda.
- 10 Watasi wa kinô otomodati no uti de ason de ita.

問題用紙作成上の注意：上に~~~~~をつけたことばは、ここに示したとおりの分ち書きで書くこと。（ただし、つづり方は各式のものに直すこと、また~~~~~は実際の用紙にはつけてはならない。その他は日常の指導のとおりの方ち書きにすること。

別紙 2

〔2〕 つづり方

小学校 年 組 番

おとこ  
おんな

次の文の中には語のつづり方がまちがっていることばがあります。そのことばだけを正しいつづり方に直して下の  の中に書きなさい。

1 Yuki ga dondon hutute iru.  
(futsute)

2 Sensê,  
(Sensê) ohayô gozaimasu.

3 Ame wa iugata niwa yamu desyô.  
(Iugata) (deshô)

4 Minna nakayoku simasyou.  
(shimashou)

5 Yakiyû o site asonda.  
(Yakiyû) [wo] (shite)

問題用紙作成上の注意

- 1 ~~~~~をつけたことばは、特に注意してこのとおりのつづり方で書くこと。(ただし、実際の用紙には ~~~~~ はつけない。)
- 2 標準式の場合は ( ) 内、日本式の場合は [ ] 内のとおりに書くこと。その他は各式ともこのとおりに書くこと。
- 3 児童が書くための  は幅 1cm, 長さ 8cm 程度の大きさにしておくこと。

別紙 3

[3] 変化形

小学校 年 組 番

おとこ  
おんな

次の文の \_\_\_\_\_ のところへ、かっこ ( ) の中にあることばの形を、文の意味がよくとおるようにかえて書き入れなさい。

- 1 Gohan o taberu mae niwa te o yoku \_\_\_\_\_ nasai.  
(arau)
- 2 Kyôsitu no naka de \_\_\_\_\_ wa ikemasen. (sawagu)
- 3 Otomodati to kenka o \_\_\_\_\_ wa ikemasen. (suru)
- 4 Boku wa 1-do Tôkyô e \_\_\_\_\_ koto ga arimasu. (iku)
- 5 Hito wa minna \_\_\_\_\_ narimasen. (hataraku)

問題用紙作成上の注意： つづり、分ち書きなどは日常の指導のとおりすること。問題中の \_\_\_\_\_ の長さは児童が語を書き入れるのにじゅうぶんな長さにしておくこと。



別紙4の(1)

[4] 黙 読

小学校 年 組 番

おとこ  
おんな

(もんだい)

Hitori no kikori ga mōri no naka de issyōkenmeini hataraitte imasita. Sibaraku site hitoyasumi suru tame ni, ki no kirikabu o makura ni site nekorogarimasita.

Haru no hi wa pokapoka to atatakai si, atari niwa hibari ga utokusii koe de saezutte imasu. Keredomo sono sugata wa miemasen.

Kikori wa utouto sinagara, “<sup>^</sup>A, mosi watasi ga hibari ni naru koto ga dekitara nā, donnani ii darō!” nado to kangaete iru uti ni, husigini mo zibun ga itu no ma ni ka, 1-wa no hibari ni natte iru no ni ki ga tukimasita.

Hibari ni natta kikori wa tanosisōni utai-nagara, massuguni ōzora e mai-agatte ikimasita. Sosite, ue kara miorosu utokusii kesiki o nagamete yukaina kimoti ni natte, kokoro-yuku bakari uta o utaimasita.

Yagate sukosi tukareta node, yukkuri to mai-orite kimasita ga, kyūni onaka ga suite iru koto ni ki ga tukimasita.

Soko de mori no naka o atira-kotira to tobi-mawatte, semete musu demo mitukeyō to simasita ga, dō sitemo mitukarimasen desita.

Kono toki tyōdo 1-piki no nezumi ga, marumaru to hutotta oisisōna musu o kuruma ni yama no yōni tunde hiite iku no o mitukemasita.

Hibari wa, kore wa umai mono ga mitukatta to bakari,

“Nê, Nezumi Kun, sono musî o sukosi wakete kurenai ka? Boku wa totemo onaka ga suite iru n da,” to tanomimasita.

Nezumi wa sibaraku kangaete imasita ga, “Dewa musî 1-piki to, kimi no hane 1-mai to kaeru koto ni siyô,” to iimasita. Nezumi wa zibun no iu tôri ni naru to omotte inakatta no desu. Tokoro ga, “ii tomo,” to hibari wa sugu ni henzi o site, zibun no karada kara hane o 1-mai uuite, kimae yoku nezumi ni watasimasita. Sono kawari ni, hutotta oisisôna musî o 1-piki tabemasita. Sore demo mada onaka ga ippai ni naranai node, mata hane o 1-mai nuite, mô 1-piki musî o tabemasita.

Akuru hi mo sora takaku mai-agari, tanosiku utai-tuzukete orite kimasuto, tyôdo nezumi ni aimasita. Soko de hibari wa mata hane o nuite, oisisôna musî to torikaete wa onaka ga ippai ni naru made tabemasita.

Mainiti mainiti, konna hûni site iru uti ni, hibari no karada wa hutotte ikimasita ga, hane wa dandan sukunaku natte simai, mae no yôni ôzora takaku mai-agaru koto wa dekinaku natte, tada zimen o pyonpyon to tobu koto sika dekinaku natte simaimasita.

Aru hi no koto, hibari ga itumo no yôni nezumi no kuru no o matte iru to, hui ni 1-piki no ôkina neko ga arawarete, ima nimo tobi-kakarô to simasita. Hibari wa hane ga nakunatte simatta si, sore ni amari hutotte simatta node, nigeru koto ga dekimasendesita.

A', osorosii neko no tume ga . . . , to omotta totan, kikori wa me ga samemasita.

Kikori wa awatete atari o mimawasimasita.

Haru no hi wa pokapoka to atatakaku, hibari no

utokusii utagoe ga tanosisôni kikoete kimasu. Kikori wa omowazu uresisôni, “ $\hat{A}$ , yappari hane wa torikaekko sinakatta rasii na!” to inagara yukkuri to tati-agarimasita.

備考: もんだい, しつもんともに, つづり・分ち書きなどについては各式によって, 日常の学習指導のとおり書きなおしてください。

別紙4の(2)

[4] 黙 読

小学校	年 組	番	おとこ おんな
-----	-----	---	------------

(しつもん)

1 次にかいてある人やどうぶつの名の中で, いまよんだお話の中に出てくる人やどうぶつの名を  でかこんでください。

tyôtyô    hibari    tubame    ryôsi    ohyakusyô

musi    suzume    inu    neko    kumo

kikori    kuma    nezumi    sensei    tako

2 いまよんだお話には, どんな題をつけたらよいでしょうか。次の題の中で, いちばんよいと思う題に○をつけなさい。

1 Neko no yume.

2 Suzume to tyôtyô no hanasi.

3 Hibari no yume.

4 Ohyakusyô ga tubame o tukamaeta hanasi.

5 Kikori no yume.

6 Nezumi to hibari no kenka.